



御田小 研究だより

平成29年10月20日
港区立御田小学校
校長 三浦 和志

第2回研究授業報告

9月20日(水) 5校時 3年1組
授業者 油 史枝 高田 悠平

<算数> 単元名「あまりのあるわり算」

<単元でねらっていること>

○わり切れない場合の除法について理解し、除法の意味について理解を深めるとともに、それを用いることができるようにする。

<本時のねらい>

○余りのあるわり算のきまりを見付け、説明することができる。

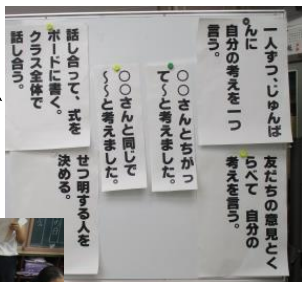
【ユニバーサルデザイン化の視点から】



本時のねらいから授業の山場を決め、「めあて」を設定しました。はじめに問題を提示してから、本時のめあてを設定することで、学習することが明確になりました。(焦点化)



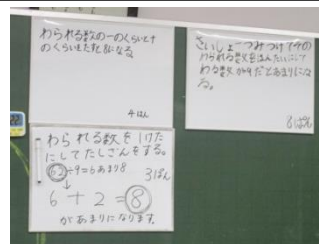
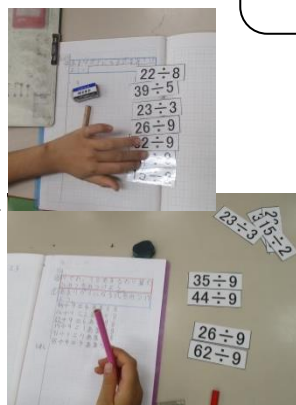
話し合いの仕方を示した掲示物を用意しました。(視覚化)



3~4人のグループで自分の考えを話し合い、友達の考えと自分の考えを比べながら聞くことで自分の考えを深めることができました。(共有化)



手元で操作できるカードを用意することで、様々な考えを出すことができました。(視覚化・焦点化)



発表ボードやハンドサインを活用することで、学級全体でも考えを共有することができました。(視覚化・共有化)

<授業を終えて>

「あまりのあるわり算」の発展的な学習として、9でわって余りが8になる特別な場合のわり算のきまりを見付ける学習をしました。友達と話し合うことによって自分では気付かなかったきまりを見付けることができました。今後も、お互いの考えを深められるような活動を工夫し、指導していきます。